

平成14年11月1日(金) 10:00～11:00 4C教室 指導者 楠木雅章

- 1 単元 文字を書く楽しさを見つけよう ～「十さいの思い」を文字に込めよう～
- 2 目標 ○ 筆順の原則を理解し筆順に従って書くとともに、漢字の部首の形の変化や文字の成り立ち、文字のもつ意味を理解して書くことができる。
○ 自らの課題をもち、課題に沿った練習方法を選択したり、練習用具を使ったりして、見通しをもって学習に取り組むことを通して、文字を書く楽しさを知り、生活に生かそうとする態度を養うことができる。

3 指導計画(単元構想)

国語科書写(全3時間)	
	<第1時> 硬筆に生かそう 筆順と字形 漢字の変化の話 筆順の原則を理解し、筆順に従って書く。 漢字の部首の形の変化を理解する。
総合的な学習 「十さいを祝おう」 (全20時間)	総合① 書きたい文字を決め、文字に込めた思いを抱く。 総合① 文字について筆順や、由来を調べる。 総合① 文字に込めた自分の思いや調べたことを発表する。
図工科 「カーブを生かして～飾り枠を作ろう～」 (全4時間)	<第2・3時> 「十さいの思い」を文字に込めよう 第2時 試し書きをし、文字を書くためのめあてをもつ。 練習方法や用具を工夫しながら練習する。 第3時 前時の課題を生かして練習を行い、作品を完成させる。(本時)

4 指導上の立場

- 中学年における書写学習では、「文字の組み立て方に注意して、文字の形を整えて書くこと」「文字の大きさや配列に注意して書くこと」「毛筆を使用して、点画の筆使いや文字の組み立て方に注意しながら、文字の形を整えて書くこと」がねらいである。

本単元では、特に「筆順と字形に気をつけて書くこと」を主なねらいとしている。4年生の学習では、これまで、画の方向や左右の部分の組み立て方、また、「たれ」「によ」「かまえ」など文字のいろいろな組み立て方の学習に取り組んできた。そして、前単元では、「左右」という題材で、筆順と字形ということを学習している。

本単元は、前単元の学習を生かしての筆順と字形の学習である。本単元第1時では、前単元の学習を生かして硬筆での学習を行い、さらに、漢字の部首の形の変化について学習する。第2・3時では、これまで学習したことを広げ、生活に生かす力を養い

たいと考え、総合的な学習との関連を設定した。10才になった自分の思いを文字に込め、記念になる作品を完成させることで、目的意識をもった主体的な学習ができると考える。さらに、自分で手本を見つけたり、練習方法や用具の工夫を行ったりすることで、児童の文字意識を高め、いろいろな生活の場面に生かし、文字を書く楽しさにつながってほしいと考えた。

- 本学級の児童の多くは、書写の時間や字を書くことを好み、書写の学習に対して意欲的に取り組むことができる。さらに、書写の時間に学習したことを、招待状や御礼などの手紙や他の学習の時間等様々な場面で生かしたいという思いも持っている。

しかし、日常生活の中では、ノートなどの文字を丁寧に書こうとする意識はあるものの、実際には乱雑になりがちな児童も見られる。また、本単元で取り扱う、筆順に気をつけて書くことや、文字の成り立ちを考えながら書くということに対して、常に意識して書いているとは言い難い。

そこで、本題材を指導することにより、筆順の大切さや文字の成り立ちということにも目を向けさせ、そのことを日常の書く活動に生かそうという意欲を育てたい。また、自分で選んだ文字についてその成り立ち、筆順、字形、意味等について調べ、その情報をもとに練習を進めていくこと、さらに、10才の区切りを意識しながら、色紙に書くという新鮮な体験をすることを通して、文字を書く楽しさを味わわせたい。

- 本校の研究テーマ「生きる力を育む書写学習のあり方―すすんで取り組み、書く喜びのもてる学習をめざして―」に迫るために、中学年では「自らの課題に気づき、文字を整えて書こうとする子ども」「文字に興味を持ち、丁寧に書こうとする子ども」をめざす児童像としている。

本時では、まず前時からのそれぞれの課題を話し合ったり、ワークシートで確認したりする中で、児童それぞれのめあてを明確に具体化していく。また、自分の課題と、それを克服するために自分で考えた練習方法を発表し合い、練習方法の見通しを持たせる。さらに、課題にあった練習用紙を準備したり、練習コーナーを選択したりすることで、めあてに沿って主体的に練習を進めることができるようにする。そして、自己評価や友達との相互評価で、互いのよいところや上達したところを認め合う中で、個々が進歩していく楽しさを感じ取ることができるようにしたい。まとめの段階では、思いを込めた作品を自分の力で完成させた充実感を味わわせるとともに、自分の伸びや友だちの伸びをグループや全体で認め合う場を設けることで、文字を書く喜びや楽しさを味わわせたい。

- 4年生の総合的な学習の時間では、「十さいを祝おう」という単元で、「これまでの成長に感謝しこれからをよりよく生きようとする思いをもつこと」をねらいとして活動を展開している。児童は、自分たちでこれまでの成長の様子を調べたり、将来の自分の夢について考えたりいろいろと主体的に活動に取り組んでいる。本単元では、この総合的な学習との関連を図り、10才の記念として思いを込めた一文字を選び、作品として色紙に書く活動を設定した。

児童はこれまで総合的な学習をはじめとして、生活のいろいろな場面で書写の時間に学習したことを生かし、広げる活動を行ってきた。その中で文字を丁寧に書こうとする意識は徐々にではあるが高まりつつある。

そこで、特に本単元においては、自分の思いを込めた文字を選ぶこと、そして手本や練習方法などを自分で模索することにより、児童の学習への取り組みがより主体的で意欲になるものと考え。そうすることが、めざす児童像にあげた「文字に興味を持ち、丁寧に書こうとする」ことにつながると考える。

5 本時案（第3時）

目標	- 自分の選択した文字について、筆順や字形における自分の課題をもち、見通しをもった練習を行って作品を完成させることができる。 - 用紙や方法を工夫して練習を行う中で、自己評価や相互評価を行い、自分や友達の伸びに気付くことができる。		
学 習 活 動		教 師 の 支 援	準 備
つ か む	1 課題に沿った練習方法の見通しをもつ。 - 自分の学習課題を確かめる。 - 自分の課題と考えた練習方法を話し合い、練習の見通しをもつ。	○ 前時のまとめ書きや学習カードをもとにして自分の学習課題を確かめ、どんな練習をすればよいか考えることができるようにする。 ○ 友だちの発表を聞いて、よい課題のとらえ方や練習方法を取り入れながら、練習の計画をカードに書き込むようにする。 ○ 練習方法に見通しをもちにくい児童へ個別に助言を行う。	学習カード
	自分の課題にあった方法で練習し、作品を完成させよう。		
す す め る	2 練習する。	○ 練習の進め方、練習用紙や場の選択の仕方等について説明し、課題に沿った練習が進められるようにする。 ○ 練習用具作成コーナーを設け、これまでの練習用紙や用具の例を提示しておくことで見通しをもって活動できるようにする。 ○ 課題を意識して工夫した練習を重ねる児童や、他の友達の方法を取り入れて練習を深めている児童を随時紹介し、全体に広げる。 ○ 課題に沿った練習の仕方ができているか助言を行う。また、向上が見られる点を称揚し、どの児童も充実感がもてるよう配慮する。 ○ 姿勢、筆の持ち方、筆使いなど一人ひとりの児童の実態に合わせて助言する。	練習用紙 水書用紙 水書黒板 クリアシート カラーペン 座席表
確	3 まとめをする。 色紙に書いて作品を完成させる。	○ 自分の課題を再確認してから、作品を完成させるように助言する。 ○ 完成した作品に印を押し、飾り枠に飾ることで、完成した満足感をより一層味わうことができるようにする。	色紙 飾り枠 印 朱肉

か め る	- グループや全体で感想を話し合う。 - 学習カードにまとめをする。 4 次の活動を知る。	- グループ内で自分が取り組んだことについての感想を発表し合い、伸びたところや効果的な練習方法を意識し、今後の学習に生かしていくことができるようにする。 - 前時のまとめ書きと本時の作品を比較し、よくなったところを互いに発表し合うことで、伸びを認め合うことができるようにする。 - 課題に沿って伸びたところをしっかりと称揚し、どの児童も自信がもてるよう配慮する。 - 学習カードに反省を書くことで、課題に沿って取り組んだ充実感を味わうことができるようにする。 - 完成した作品を総合的な学習に生かそうとする気持ちを喚起する。	
評価	- 筆順や字形に気をつけながら、丁寧に書くことができたか。 - めあてに沿った練習方法を工夫し、進んで学習に取り組むことができたか。 - 自分や友達の伸びを見つけることができたか。		